

アジアを見る眼

104

高根 務 著

ガーナ
——
混乱と希望の国

アジア経済研究所

ガーナ

— 混乱と希望の国

目次

はじめに

第1部 歴史編

第1章 王国の興隆と戦争の時代……………5

1 初期の住人 6

コラム1 ボソムチュウエ湖 11

2 ヨーロッパ列強の到来 12

3 王国の形成と抗争 18

4 アサンテ王国とファンテ王国 22

5 イギリスとアサンテ王国 24

6 「森は大砲よりも強い」 30

コラム2 熱帯病は酸素不足が原因？ 35

7 「私に白人を攻撃する意志はない」 36

コラム3 アサンテ王コフィⅡカカリ 41

8 アサンテ王国最後の戦い 42

第2章 イギリス支配下のゴールドコースト……………51

1 植民地下のアサンテ王国 52

コラム4 現在のアサンテ王 55

2 植民地経済の発展 56

3 間接統治 59

4 庶民にとっての植民地時代——小農とカカオ 65

コラム5 カカオ農民、アジェイじいさんにとっての植民地時代 70

5 庶民にとっての植民地時代——女性の経済活動 73

6 農村部での政治運動——カカオ不売運動 76

7 独立運動の高まり 81

コラム6 若き日のンクルマ 85

第3章

独立ガーナ——混乱と希望の現代史……

91

1 ンクルマ時代——希望と挫折 92

2 「政府はどんなことでもできる」 97

コラム7 クーデター後のンクルマ 103

3 政治混乱と経済停滞の悪循環 104

4 ローリングスの「革命」 111

コラム8 若き日のローリングス 115

コラム9 クーデターの陰で 116

5 「革命」の中身 117

6 独裁から民主化へ 120

第Ⅱ部 現代ガーナ編

第4章

「名前」と「制度」

.....

131

- 1 地名の由来 132
- 2 人名の由来 137
- 3 シンボル 143
- 4 政治体制 147
- 5 ことば 150
- 6 教育 153
- 7 女性 156

第5章

くらし

.....

161

- 1 食べ物 162
- 2 酒 169
- 3 買い物 176

コラム 10 昔のお金 183

4 季節 184

5 葬式 189

6 呪術 194

7 タブーとマナー 196

初出一覧 203

挿図・写真・図版の出典 204

あとがき 209

索引 214

著者紹介

たかね つとむ
高根 務

1963年生まれ 農学博士
1986年 富山大学人文学部卒業
1986～88年 青年海外協力隊としてガーナに滞在
1989年 ウェールズ大学大学院卒業
1989年 アジア経済研究所入所
1995～97年 ガーナ大学客員研究員
現在 アジア経済研究所地域研究センターアフリカ研究グループ研究員

〈主要著書〉

『ガーナのココア生産農民』 アジア経済研究所 1999年（日本アフリカ学会研究奨励賞，発展途上国研究奨励賞を受賞）
『アフリカの政治経済変動と農村社会』（編著）アジア経済研究所 2001年
The Cocoa Farmers of Southern Ghana: Incentives, Institutions and Change in Rural West Africa, Institute of Developing Economies, 2002
『アフリカとアジアの農産物流通』（編著）アジア経済研究所 2003年

ガーナ 混乱と希望の国 アジアを見る眼104

2003年11月7日発行© 定価（1,100円＋税）

著者 **高根 務**

発行所 独立行政法人日本貿易振興機構

アジア経済研究所

千葉市美浜区若葉 3-2-2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735（販売）

FAX 043-299-9736（販売）

E-mail: syuppan@ide.go.jp

http://www.ide.go.jp

印刷所 **広研印刷株式会社**

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

ISBN 4-258-05104-7 C1233

地中海から太平洋まで、この広くアジアと呼ばれる地帯には幾十かの国がある。その大部分は第二次世界大戦以後、古い植民地体制から脱して新興の独立国となったものである。世界の人口の半ば以上のものがここに存在する。これらの新興国はそれぞれの立場に立って、建國創業の仕事に力をつくしている。

その業は果たして障害なく着々と進んでおるか。だれもがこれに對して頭をかしげるであろう。そしてだれもがアジアは「流動的」であるという。

流動的とは何であるか。また何でないか。いくたの混みいった事態のなかを、一本の金の線が生々發展的に縫っているのも流動的である。経済は着々と成長し、政治は一つの体制のなかで徐々に整備されているような場合がそれぞれある。

アジア諸国の大部分については、事態はこのように簡単ではない。もちろん、経済の場面には大きな発展・成長の芽生えはある。しかし、他面においてそれを抑制するものが力づよい。またおよそ発展や成長を考へる場合、在来流行の理解によるパターンを以てするのが果たして正しいか、との疑問もでてくる。さらに政治体制については、イデオロギーの対立、複合民族国家における特殊なナショナリズムに伴う民族や種族間の闘争があつて、政治的安定はなかなか期すべくもない。独立国家の幼年期に伴う政治的、行政的未熟もまた考へられるべき大きな原因である。

こういう次第で、アジアが流動的であるとは、一つの混沌を意味するものといえようか。そしてその上に立つていかなる経済・社会・政治の体制が整いだされるであろうか。——この意味で二〇世紀後半のアジアは世界における「問題」、いな最も大きな「問題」である。

アジア経済研究所は、まさにこの「問題」の理解に向かつて、ひたすら前進をつづけている。われわれの期するところは、まさにそれぞれの国の現実に即した精確な知識を供しよう、そしてこの大きな「問題」について静かなサロピスをいたそうとするに尽きる。設立以来すでに七十年余り、専らそういう道を歩んできたし、今後もそれに変わりはしない。このシリーズは、多くの研究や調査の報告書、現地調査を土台として、アジアについての解説書・教養書たることを目標とするものである。

一九六六年三月

ガーナの行政区分と主要都市



ガーナのエスニックグループの分布

